

第35代市長に 郡和子氏

任期満了に伴う仙台市長選挙は、7月23日、市内171カ所の投票所で投票が行われました。当日の有権者数は87万3635人で、投票者数は38万8965人。投票率は44・52%でした。

即日開票の結果、郡和子氏が16万5452票を得て当選。7月24日には市選挙管理委員会から当選



▲当選証書付与式での郡市長

証書が付与されました。第35代市長の任期は、平成29年8月22日から平成33年8月21日までの4年間です。



●略歴

昭和32年 仙台市生まれ
昭和54年 東北学院大学経済学部卒業
昭和54年 東北放送(株)に入社、報道制作局部長などを歴任
平成17年 第44回衆議院議員選挙で初当選、以降4期まで連続当選。内閣府大臣政務官、復興大臣政務官などを歴任
平成29年8月 仙台市長就任

このたび、市民の皆さまの力強いご支援をいただき、仙台市長としての重責を担わせていただくことになりました。課せられた使命と責任の大きさを厳粛に受け止め、市政運営に全力を尽くす所存です。

喫緊の課題であるいじめ防止に向けた対応はもちろん、人口減少社会の到来が間近に迫る中、子育て・教育環境の充実、地域経済の活性化など、取り組むべき課題は多岐にわたり山積しています。できる限り多くの現場に足を運び、さまざまな声に耳を傾けながら、市民協働で魅力あるまちづくりを進めてまいりたいと思います。

「誰にでも居場所と出番がある仙台」を市民の皆さまとともに築いていきますよう、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

仙台市長 郡和子

市政トピックス

市政運営8年間 奥山前市長が退任

平成21年8月から2期8年にわたり仙台市長を務めた奥山前市長の任期が満了となりました。

任期中の平成23年に東日本大震災が発生。5カ年の震災復興計画のもと復旧・復興に取り組み、仙台で開催された第3回国連防災世界会議では、震災の教訓を世界と共有しました。また、市民協働による取り組み、防災と環境に配慮した都市づくりなどを進めました。最後の登庁日となった8月21日、奥山前市長は「2期8年の任期中、多くの市民の方々に支えていただいたことに、心から感謝します」とあいさつし、市民や職員に見送られて市庁舎を後にしました。



▲第3回国連防災世界会議では、仙台の名を冠した世界の防災の取り組み指針「仙台防災枠組2015-2030」が採択されました



▶笑顔で退任する奥山前市長

市政トピックス

政宗公生誕450年 記念 生誕祭

伊達政宗公生誕450年を記念して、誕生日の8月3日に生誕を祝うイベントを行いました。会場となった一番町商店街では、伊達



武将隊による演武や歴史講座などを実施。仙台伊達家18代当主・伊達泰宗氏も駆け付け、藩祖・政宗公の生誕の日を、集まった市民とともにお祝いしました。政宗公は、新暦では9月が誕生日となることから、8月3日に行った生誕祭を「序章」とし、9月18日には「本章」を開催します。

生誕祭「本章」

全国の武将隊を招き、伊達武将隊とのコラボ演武などを行います。
●日時 9月18日(祝)午後1時半～7時20分
●場所 SENDAI GIGS (若林区荒井字矢取東3-1-2) ●入場料 2500円(別途ドリンク代500円) ●チケットはローソンチケット、チケットぴあで販売中 問(株)ハートアンドブレイン ☎748・4830、観光課 ☎214・8260

市政トピックス

みやぎ総文2017 が開催されました

7月31日から8月4日の間、高校生最大の芸術文化の祭典「全国高等学校総合文化祭 みやぎ総文2017」が宮城県で初開催されました。仙台サンプラザで行われた総合開会式には、2千人を超える出演者や観客が参加。秋篠宮さまと次女佳子さまも出席され、秋篠宮さまは「参加者との交流を通じて、友好の輪を国内外に広げてください」とあいさつされました。期間中は約2万人の高校生が集い、県内10市町を会場に合唱や吹奏楽など23部門で日頃の活動の成果を競うとともに、全国・海外の高校生たちとの交流を深めました。市内の会場では、マーチングバ



▲総合開会式では、出演者全員で大会イメージソングを合唱しました

市政トピックス

接遇の向上に生かす アンケート

市は、5月中旬から6月上旬まで、市役所各庁舎、区役所、市民利用施設等で窓口サービスアンケートを実施し、1736件の回答をいただきました。アンケートは、接遇等に関する8項目について行い、前回同様、全ての項目で9割以上の方から「良い」または「普通」という評価をいただきました。市では、この結果を参考に、今後も市民サービスの向上に取り組んでいきます。詳しいアンケート結果は、市ホームページで9月11日からご覧いただけます。

市政トピックス

本に触れて、楽しむ とぶらす・ウィーク

市民図書館・せんだいメディアテークでは、8月6日から5日間、

市政トピックス

史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設が開館



▲普段触れることのできない古手書、専門家の解説を聞きながら見ていただきました

7月28日、国の史跡である陸奥国分寺跡にガイダンス施設が開館しました。陸奥国分寺は、奈良時代に全国で建立された国分寺の中で、最も北に造られたもの。市では、これまでの発掘調査の成果を踏まえ、市民が地域の歴史や文化



▲ガイダンス施設内

に触れ、学びを深めるための場としてガイダンス施設を設置しました。

施設内には無料で自由に見学ができる展示室を設け、発掘調査の出土品やパネルを展示し、国分寺の創建や、今から1100年以上前に起きた貞観地震の被害から地域が復興するまでの歴史を紹介しています。また、学校や市民の団体が利用できる学習室もあります(要事前申し込み)。

屋外に併設された屋根付きの休息棟「天平廻廊」(表紙参照)は、かつての国分寺の廻廊を再現した印象的な外観で、奈良時代の雰囲気を感じられる場所となっています。

ガイダンス施設の利用について

●開館日 年中無休 ●開館時間 午前9時～午後5時 ●陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会による施設内の展示説明有り(要事前申し込み) 申・問文化財課 ☎214・8893